

演習:選択肢を表示

2022年4月26日更新版

```
<u>はじめに</u>
本書の内容
前提
必要条件
```

演習1

設定

<u>アグリゲーション検索条件</u> フォーム部品

解説

NumberValue タグスキーマ StringValue タグスキーマ

演習2

設定

 アグリゲーション検索条件

 付箋 タグスキーマ

 1行テキストフィールド

 実行

演習3

設定

<u>アグリゲーション検索条件</u> <u>フォーム部品</u> パラメータを変更する設定

- ・iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPadは、Apple Inc.の商標です。
- ・その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- ・本書は株式会社MetaMoJiが作成したものであり、本書の著作権は、株式会社MetaMoJiに帰属します。
- ・本書の内容は予告なく変更することがあります。



はじめに

本書の内容

フォーム部品の1行テキストフィールド、数値フィールド、選択フィールドは設定で選択肢を指定することができます。フィールド毎にリストを定義する(記憶させる)か、共有リストに登録されているリストを指定します。

更に、パッケージ開発中(パッケージ開発フォルダ内のノートを編集中)では、アグリゲーションで生成した結果レコードを選択肢として使うように設定することができるので、その使い方について演習を行います。

前提

フォーム作成、パッケージの開発についての基本的な操作をマスターしている方を対象とします。 作業を行うためのパッケージやノート追加などの手順は省略していますので、適宜行ってください。

必要条件

プラットフォーム: iOS 8 以降, Windows 10

GEMBA Note / eYACHO のバージョン: 6.0 以降



演習1

まず、固定のリストをアグリゲーションで作りだしてみます。

設定

アグリゲーション検索条件

検索条件の設定ダイアログで検索条件を作成します。

≪list 1≫

設定ID ۞ FixedNumberList			h
結果タグスキーマ			
NumberValue (数值)			\forall
画像・PDFのインポート設定			>
検索パラメータ	削除	追加	>
コネクタ	削除	追加	>

- 設定IDに「FixedNumberList」と入力します。
- コネクタの設定(抽出条件)はありません。
- SQL は、以下のSQLを入力してください。SQL で固定のレコードを5件生成して NumberValue タグの結果レコードとしています。

```
/* リストの内容を生成する */
SELECT 1 AS v, '壱' AS ja
UNION SELECT 2 AS v, '弐' AS ja
UNION SELECT 3 AS v, '参' AS ja
UNION SELECT 4 AS v, '肆' AS ja
```

フォーム部品

+>フォーム部品を追加>数値フィールド



で数値フィールドを追加し、数値フィールドの設定ツールボックスで、

入力方法>リスト>アグリゲーション

とたどり、検索条件の一覧から FixedNumberList を選択してすべて完了で閉じます。



数値フィールドをタップするとFixedNumberList で定義した選択肢が表示されます。





解説

共有リストに指定したアグリゲーションで集約した結果は、タグスキーマ NumberValue 、 で解釈して選択肢を表示します。結果タグスキーマにそれ以外のスキーマが指定されているアグリゲーション検索条件は、共有リストの設定には表示されません。1行テキストフィールドで同様のリストを表示する場合は次のように v の値が文字列で、結果クラスに

StringValue

を指定します。



NumberValue タグスキーマ

タグID (tagId)		設計者ID (designerId)
NumberValue		com. metamoji. basic
プロパティID	データ型	説明
v	数値型	数値データ
ja	文字列型	日本語の表示文字列
en	文字列型	英語の表示文字列

StringValue タグスキーマ

タグID (tagId)		設計者ID (designerId)
StringValue		com. metamoji. basic
プロパティID	データ型	説明
v	文字列型	文字列データ
ja	文字列型	日本語の表示文字列
en	文字列型	英語の表示文字列



演習2

今度は抽出条件を使って、ノート内の付箋タグに入力されている文字列を集約してリストに表示してみます。

設定

アグリゲーション検索条件

検索条件の設定ダイアログで検索条件を作成します。

 $\langle 1ist.2 \rangle$



- 設定IDに「MemoList」と入力します。
- 結果タグスキーマの選択リストから、ベーシック>StringValue(文字列値)をタップし、タグスキーマ「S tringValue(文字列値)」を設定します。
- コネクタの「追加」をタップしてコネクタの追加ダイアログを表示します。
 - コネクタの追加ダイアログ 抽出テーブル名を「MEMO_TABLE」と入力し、タグ検索条件にタグスキーマ「付箋」を設定します。
- SQL は、以下のSQLを入力してください。

/* 付箋の種別を v として生成する */ SELECT [種別] AS v FROM MEMO_TABLE WHERE _pageId=:_PAGE_ID ORDER BY [種別] ASC



箋 タグ	タグスキーマ			
	タグID (tagId)		設計者ID (designerId)	
	付箋		com. metamoji. basic	
	プロパティID	データ型	説明	
	種別	文字列型	付箋文字列	

1行テキストフィールド

1行テキストフィールドの設定ツールボックスで

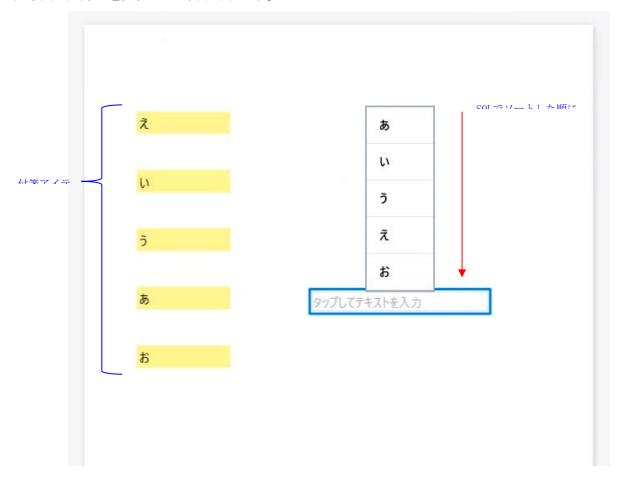
リストの設定>アグリゲーション

とたどり、検索条件の一覧から MemoList を選択してすべて完了で閉じます。



実行

付箋を複数貼り付けて、内容に文字列を入力しておきます。1行テキストフィールドをタップすると、付箋に入力した文字列が入力の選択肢として表示されます。





演習3

パラメータを使ってリストを出し分けられることを確認します。

設定

文字列型のパラメータを1つ定義して、パラメータの値が odd だったら 1, 3, 5、even だったら 2, 4, 6 を数値 フィールドの選択肢に表示します。パラメータはタグと関連付けておくことで値を変更できるようにしておきます。

アグリゲーション検索条件

検索条件の設定ダイアログで検索条件を作成します。

≪list 3≫



- 設定IDに「OddEvenList」と入力します。
- 結果タグスキーマの選択リストからベーシック>NumberValue(文字列値)をタップし、タグスキーマ「NumberValue(文字列値)」を設定します。
- 検索パラメータの追加をロクリックして検索パラメータの追加ダイアログを表示してください。
 - 検索パラメータの追加ダイアログ 検索パラメータの追加ダイアログで、パラメータIDに「parity」、パラメータ型に「文字列」、初期値 に「odd」と設定してください。
- SQL は、以下のSQLを入力してください。



```
UNION SELECT 3 AS v WHERE :parity='odd'
UNION SELECT 5 AS v WHERE :parity='odd'
UNION SELECT 2 AS v WHERE :parity='even'
UNION SELECT 4 AS v WHERE :parity='even'
UNION SELECT 6 AS v WHERE :parity='even'
```

フォーム部品

数値フィールドの設定ツールボックスで

設定の変更>リスト>アグリゲーション

とたどり、検索条件の一覧から OddEvenList を選択してすべて完了で閉じます。





ここまでの設定で、数値フィールドをタップすると、パラメータの 初期値(odd)の設定に従って奇数のリストが表示されます。



パラメータを変更する設定

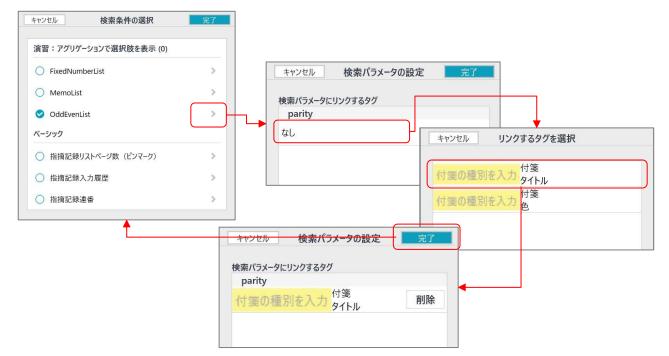
パラメータはタグのプロパティと関連付けることで実行時に変更することが出来ます。専用のタグを用意しても 良いですが、ここでは簡便のため付箋で代用します。

設定した数値フィールドと同じページに付箋アイテムを貼り付けます。このアイテムは付箋タグとそれにリンク した1行テキストフィールドの組み合わせで出来ています。

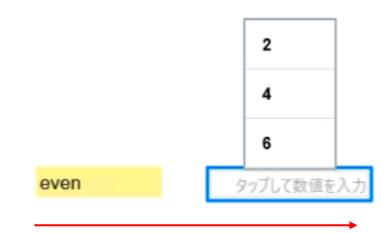
数値フィールドの設定ツールボックスで

入力方法>リスト>アグリゲーション

とたどり、 OddEvenListをタップして、パラメータの関連付けを行います。







付箋に even と入力して数値フィールドをタップ